ふりかえりプリント　10月第2週①

答えのらんをうしろにおってから始め、おわったら自分で丸をつけましょう。

名前

A　数と計算

① 筆算でしましょう。

96÷32　答え

② 筆算でしましょう。

7.5÷5　　8.4÷4

③ 計算をしましょう。

$\frac{4}{5}\div 2=$

答え

④ 半径が3cmの円の面積は何cm²ですか。
円周率は3.14とします。

答え

B　図形・量と測定

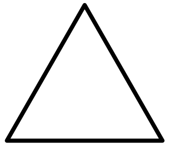
① 1辺が8cmの正方形の面積は何cm²ですか。

答え

② 正三角形の1つの角の大きさは何度ですか。

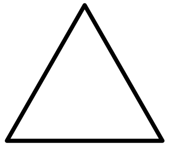
答え

③ この二等辺三角形の対称の軸は何本ありますか。



答え

④ この二等辺三角形は、点対称な図形ですか。
「はい」か「いいえ」で答えましょう。



答え

C　変化とデータ

① 20cmは4cmの何倍ですか。

答え

② 2mの1.5倍は何mですか。

答え

③ x×7＝56のとき、xはいくつですか。

答え

④ A、B、C、D、E
の5人から3人を選ぶ選び方は、
何通りありますか。

答え

こたえ（おもて）

A
①3
② 7.5÷5＝1.5
8.4÷4＝2.1
③$\frac{4}{5}\div 2=\frac{2}{5}$
④28.26cm²

B
①64cm²
②60度
③1本
④いいえ

C
①5倍
②3m
③8
④10通り

まちがえた問題は消さずに、赤で書きなおしましょう。

6年 10月2週（1）｜
①＝4年　②＝5年
③④＝6年

6-10-2-1 v3

まちがいを見つけたら教えてください

© School Stock

稲わらは、捨てられない

名前

音読サイン

稲かりの終わった田んぼに、切りそろえられたわらが横たわっています。米だけを取って、残りは捨てるように見えます。ところが昔の暮らしで、わらが捨てられたことはほとんどありませんでした。

わらは、なわになりました。ぞうりになり、しきものになり、屋根をふく材料にもなりました。米をしまうたわらになって、米そのものを包みもしました。一本ならすぐ切れるのに、何本かをより合わせると、重いものをつるせるほど強くなります。

使い終わったわらは、牛やうまの下にしいて、ふんとまざります。それを積んでおくと、やがてたい肥になります。たい肥は田にまかれ、次の年の稲を育てます。田から出たものが、田へもどっていくのです。

今は機械が、かり取ったその場でわらを細かくくだき、土にすき込みます。手で編むことはなくなりました。それでも、もどす、というやり方そのものは変わっていません。

わらを「使えるもの」と考えたのは、あまったからではありません。田から出るものを一つも外へ出さない暮らしがあったからです。「もったいない」は、気持ちを表す言葉に思えますが、もとはこのしくみを言い表す言葉でした。

(1) 「より合わせる」の意味に合うものを一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア　同じ長さに切りそろえる
イ　水につけてやわらかくする
ウ　太いものだけをえらび出す
エ　何本かをねじって一つにする

(2) 使い終わったわらは、最後にどうなりますか。一つ選び、記号に○をつけましょう。

ア　もやして灰にする
イ　工場へ運ばれて紙になる
ウ　そのまま川へながす
エ　ふんとまざってたい肥になり、田へもどる

(3) 牛やうまのふんとまざったわらは、積んでおくと何になりますか。文章から三字で書きぬきましょう。

(4) 筆者は、「もったいない」をどんな言葉だと言っていますか。文章の言葉を使って書きましょう。

書くときのポイント
「～と言っている。」でおわらせる。
「しくみ」という言葉を必ず使う。

こたえ（うら）
問1　エ
問2　エ
問3　たい肥
問4　（例）気持ちを表す言葉ではなく、田から出るものを外へ出さないしくみを言い表す言葉だと言っている。

〈○のつけ方〉
問1～問3は、答えとぴったり同じなら○。
問4は〈しくみを言い表す言葉〉が書けていれば○。

6-10-2-1 v3
6年　説明文

© School Stock